

地質ニュース

昭和 58 年 3 月

第 343 号

1 9 8 3

特集 海洋底をさぐる 57年

海洋地質部の研究の概要 (昭和57年度)	水 野 篤 行	6
深海底鉱物資源に関する地質学的研究 ——昭和57年度研究航海 (GH82-4)——	野 西 白 棚 山 池 渡 盛 原 村 井 橋 崎 原 辺 谷 昌 俊 和 智 人 昭 朗 孝 嗣 研 明 之	9
日本周辺海域の海洋地質調査活動 ——昭和57年度の白嶺丸による調査航海——	本 座 榮 一 木 下 泰 正 史 有 井 上 英 二	22
湖沼堆積物の調査技術に関する研究 ——昭和57年度調査研究報告——	井 内 美 郎 湖 沼 堆 積 物 研 究 グ ル ー プ	46
魚貫崎及び牛深 ONIKIZAKI AND USHIBUKA (阿久根の一部を含む)	高 井 保 明 佐 藤 博 之	57

口 絵 地質調査所における海洋音波探査..... 玉 木 賢 策

編 集 地 質 調 査 所

表 紙 の 写 真

コンピュータ・グラフィックスによる日本列島及び日本周辺海域の立体地形図 玉木賢策・西 祐司

本図は 海上保安庁水路部海洋資料センターの水深データファイルよりコンパイルした水深データと 国土地理院の国土数値情報よりコンパイルした標高データを 地質調査所の地熱情報データベースシステム/SIGMAで処理し カラー・プロットに出力したものである。海陸あわせて197,703点のランダムデータを366×546のグリッドデータ(グリッド間隔は4.8km)に変換している。ランダムデータから本図のイメージファイル作成までの計算時間は IBM の中型機4341で約1.5時間であった。垂直/水平スケール比を約40倍にとって地形の起伏を誇張してあるが 日頃我々が慣れ親しんでいる陸の山々と比べて見ると 海嶺・海山の規模が実感できる。日本アルプス 富士山と比べてみると 日本海の大和堆 太平洋の海山群 伊豆-小笠原海嶺の大きさに改めて驚かされる。しかしなんといても魅力的なのは海溝の姿である。まさに我々の国土は海溝と不可分なのである。

発 行 株 式 会 社 実 業 公 報 社